

鉄骨工事 Q&A	材料	BCP325T	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. BCP325Tの「T」の意味と、BCP325との違いは何か？

A.

冷間成形角形鋼管のうちプレス成形角形鋼管は、プレスにより鋼管の4隅の部分を塑性加工しています。そのために、窒素量の上限を制限するなどした鋼管用の素材が、使用されています。

一般的な建築構造用冷間プレス角形鋼管（例：BCP325）は、平坦部のみシャルピー吸収エネルギー27J(0℃)が規定されています。

一方、建築構造用高性能冷間プレス角形鋼管（例：BCP325T）は角部・平坦部ともシャルピー吸収エネルギー70J(0℃)を保証した材料です。なお、引張試験の規定は両者とも同じです。

「T」は「Tough」（タフ）のTを示しています。

この材料を使用して「脆性破壊防止溶接積層法」(注)で溶接を行う場合、構造設計上、有利になります。

もし、BCP325TからBCP325に変更する場合は構造設計に用いる係数が異なっていますので、必ず構造設計者に確認する必要があります。構造計算をやり直す可能性があります。

ちなみに、BCPは一般名称ではなく、(一社)日本鉄鋼連盟の登録商標です。

(注)：「脆性破壊防止溶接積層法」：下記、2018年版マニュアルでは、NBFW法の呼称を変更しています。

